

年間授業計画

高等学校 令和7年度

教科

国語

科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： ( 1～5組：白戸 )

使用教科書： ( 『標準 現代の国語』 第一学習社 )

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
1 学期	A 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。	・指導事項 手塚治虫「世界は謎に満ちている」 「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げた事例から把握する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○	○	○	○	6
	定期考査									
	C 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 読書の意義と効用を理解し、日々の読書活動	・指導事項 又吉直樹「なぜ本を読むのか」 筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○				7
	1 1 1									
2 学期	D 単元 現代と社会 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の情勢について積極的に調べ、自分の考えを持つ。	・指導事項 黒柳徹子「黄色い花束」 コソボの話題を筆者の子供時代の話題との関係性を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧 ・一人1 台端末活用 世界で起こっている紛争や地雷について調べ、現状を把握する。			○	○				6
	7									
	7									
	1									
3 学期	D 単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 言葉には認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。例示などの修辭を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のはたらきを理解し、日常生活で生かす。	・指導事項 本田弘之「言語としてのピクトグラム」 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○				7
	7									
	7									
	1									
3 学期	E 単元 人間と文化 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことを整理して、説明資料にまとめる方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 水のとらえ方の違いから視点を広げ、西洋と東洋の違いについて興味を持つ。	・指導事項 山崎正和「水の東西」 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧 ・一人1 台端末 西洋と東洋の違いを調べ、まとめる。			○	○				7
	1									
	7									
	5									
3 学期	F 単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 仕事の意義、役割を理解する。	・指導事項 内田樹「人はなぜ仕事をするのか」 本文中で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○				5
	1									
	7									
	1									
3 学期	G 単元 社会と人間 【知識及び技能】 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を的確に理解し、身の周りに引き寄せて考える。	・指導事項 岡田英智男『『弱いロボット』の誕生』 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○				7
	7									
	6									
	1									
3 学期	H 単元 現代と社会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 有限な資源をどのように活用していく、今後の日常生活にも繋げて考える。	・指導事項 鷗谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧			○	○				6
	1									
学年末考査										1
合計										70







高等学校 令和7年度（1学年用）教科

数学

科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組  
 教科担当者： (1組：西塚、鈴木) (2組：秋澤、鈴木) (3組：西塚、上田) (4組：秋澤、西塚) (5組：上田、秋澤)  
 使用教科書： (最新数学 I 数研出版)

教科 数学 の目標：  
 【知識及び技能】 基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析、2次関数、図形と計量について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身に付ける。	数学的事項の構成要素間の関係に注目し、その性質を見だし、論理的に考察する力を身に付ける。	数学を活用しようとする態度、数学的論議に基いて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>①単項式や多項式を理解し、同類項をまとめたり加法・減法を正しく行うことができる。                      ②基本的な展開と因数分解を正しく行うことができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      複雑な式についても、項を組み合わせた、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①単項式、多項式とその整理の仕方に興味をもち、考察しようとする。                      ②展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の除算に展開を利用しようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 数と式 第1節 整式 ・整式とその加法、減法 ・整式の乗法 ・因数分解 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	12
<p>【知識及び技能】</p> <p>①様々な分数や実数の種類を区別できる。                      ②基本的な平方根の計算を行うことができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを考察できる。                      ②自然数、整数、有理数、実数の各範囲で、四則計算について閉じているかどうかを考察できる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。                      ②循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。</p>	<p>・指導事項 第1章 数と式 第2節 実数 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・絶対値 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①大小関係を不等号を用いて表現することができる。                      ②1次不等式を解き、その解を数直線上に図示することができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①具体的な数値に対して、不等式の解であるかどうかを判断できる。                      ②不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①不等号に等号が付いているものと付いていないものの違いを考察しようとする。                      ②連立不等式の解を考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 数と式 第3節 不等式 ・不等式と数直線 ・1次不等式 ・連立不等式 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	17
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができる。                      ②<math>y=f(x)</math>や<math>f(x)</math>の表記を理解しており、関数の値f(a)を求めることができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①2次関数<math>y=a(x-p)^2+q</math>のグラフの頂点、軸について理解している。                      ②<math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフをかくためには、<math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形する必要があることを理解している。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。                      ②日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。</p>	<p>・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・関数とグラフ ・平方完成 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①2次関数の最大値、最小値を求めることができる。                      ②与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。                      ③2次方程式を解くことができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。                      ②2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①身近な問題を、2次関数の最大・最小の考えを活用して解決しようとする。                      ②2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。</p>	<p>・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・最大と最小 ・2次関数の決定 第2節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式 ・2次不等式 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①三角形は、直角三角形の辺の比であることを理解している。                      ②直角三角形において<math>\sin\theta</math> <math>\cos\theta</math> <math>\tan\theta</math>の値を求めることができる。                      ③三角形の表を用いて、三角形の辺や角を調べることができる。                      ④三角形の相互関係を用いて、三角形の1つの値から残り2つの三角形の値を求めることができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①図解を用いた鈍角の三角形の定義を理解している。                      ②三角形と三角形の面積の関係を考察することができる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①三角形の相互関係を調べようとする。                      ②三角形の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。</p>	<p>・指導事項 第4章 図形と計量 第1節 三角形 ・鋭角の三角形 ・相互関係 ・三角形の拡張 ・正弦・余弦定理 ・三角形の面積 ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	26
定期考査			○	○	○	1
						合計
						105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科 数学 科目 数学A 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 5 組  
 教科担当: (1組: 坪住・西塚) (2組: 工藤・西塚) (3組: 工藤・好住) (4組: 秋澤・好住) (5組: 西塚・工藤)  
 使用教科書: (最新数学A 数研出版)

教科 数学 の目標:  
**【知識及び技能】** 基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 問題解決の道筋を考えたり説明ができるようになる。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知らうとする。

科目 数学A	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力をつける。	数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。	数学を活用しようとする態度、数学的論議に基づいて判断しようとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<b>【知識及び技能】</b> ①共通部分、和集合、補集合を求めることができる。 ②要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 ③順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。 ②具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①集合を考えることで、日常的事象などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 ②1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。	・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・集合 ・要素の個数 ・樹形図 ・順列 ・教材 最新数学A パラレルノート数学A	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	<b>【知識及び技能】</b> ①組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ②組み合わせの問題を処理できる。 ③同じものを含む順列の総数を求めることができる。 ④確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応せたりして処理することができる。 ②試行の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えようとする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ②和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連つけて考察しようとする。	・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・組み合わせ ・組み合わせの利用 第2節 確率 ・確率の意味 ・和事象と余事象 ・独立試行 ・教材 最新数学A パラレルノート数学A	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	<b>【知識及び技能】</b> ①重心・内心・外心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ②チェバ・メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。 ③円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①図形の性質を証明するために、間接的な証明法である同一法を適用することができる。 ②三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①重心・内心・外心の図形に関心を持つ。 ②チェバ・メネラウスの定理の証明方法に関心をもつ。 ③三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を考察しようとする。	・指導事項 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 ・重心・内心・外心 ・チェバ・メネラウスの定理 第2節 円の性質 ・円周角と中心角 ・内接する四角形 ・教材 最新数学A パラレルノート数学A	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	<b>【知識及び技能】</b> ①円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。 ②円への定理を用いて、線分の長さを求めることができる。 ③円の位置関係を5つの場合があることを理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①円と直線の位置関係を3つの場合があることを理解している。 ②接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。 ③円の位置関係を、動的な面から観察することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①円への定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに関心をもつ。 ②2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとする。	・指導事項 第2章 図形の性質 第2節 円の性質 ・円と接線 ・接弦定理 ・円への定理 ・2つの円 第3章 数学と人間の活動 ・約数・倍数 ・素数と素因数分解 ・教材 最新数学A パラレルノート数学A	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	<b>【知識及び技能】</b> ①公約数、最大公約数の意味を理解し、それを求めることができる。 ②素因数分解を利用して最大公約数を求める方法を理解している。また、互いに素の意味を理解し、2つの整数が互いに素であるかどうかを判断できる。 ③1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 ④1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。 ②互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。	・指導事項 第3章 数学と人間の活動 ・不定方程式 ・最大公約数、最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法 ・教材 最新数学A パラレルノート数学A	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	17
	定期考査						1
	合計						70



年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組～6組 馬場 神谷 小嶺 池田）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】体力を高める運動の意義と、高め方及び競技のルール等を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】技能の段階に応じて、課題解決のための目標を設定し、練習を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間と協力し、様々な種目に積極的に取り組む。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の主眼的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。</li> <li>生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</li> <li>課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。</li> </ul>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学 期	①運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ②生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う	・ラジオ体操  ・体ほぐしの運動  ・体力テスト  ・バドミントン  ・水泳  ・柔道  ・ダンス	<b>【知識・技能】</b> ・運動の主眼的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 ・生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	39		
		・水泳  ・サッカー  ・バスケットボール  ・バレーボール  ・柔道				○	○	○	45
		・長距離走  ・球技				○	○	○	21
							合計	105	









年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年級： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： ( 1 組： 興梠・芝宮 ) ( 2 組： 成田・興梠 ) ( 3 組： 芝宮・興梠 ) ( 4 組： 興梠・成田 ) ( 5 組： 成田・芝宮 )

使用教科書： ( 『All Aboard! English Communication Ⅰ』 ( 東京書籍 ) )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
一定の支援を受けながら、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための知識・技能を身に付ける。	一定の支援を受けながら、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための思考・判断・表現力を身に付ける。	積極的に英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ 一 言 ）	話 （ 一 文 ）						
1 学 期	Lesson1 [Breakfast Around the World] Get Ahead UNIT1		○	○	○	○		○	○	○	8
	Lesson2[Australia's cute Quokkas] Get Ahead UNIT1		○	○	○	○		○	○	○	7
	Lesson3[A train Driver in Sanriku] Get Ahead UNIT2		○	○	○	○		○	○	○	8
	Lesson4 [A Miracle Mirror] Get Ahead UNIT2		○	○	○	○		○	○	○	7
	定期考査							○	○	○	1
2 学 期	Lesson5 [Learning From the Sea] Get Ahead UNIT3		○	○	○	○		○	○	○	11
	Lesson6[A Funny Picture from the Edo Period] Get Ahead UNIT3		○	○	○	○		○	○	○	11
	定期考査							○	○	○	1
	Lesson7[A Diary of Hope] Get Ahead UNIT4		○	○	○	○		○	○	○	12
	Lesson8 [A Door to a New Life] Get Ahead UNIT4		○	○	○	○		○	○	○	12
3 学 期	Lesson9[Fighting Plastic Pollution] Get Ahead UNIT5		○	○	○	○		○	○	○	9
	Lesson10 [Pigs from across the Sea] Get Ahead UNIT6 英文の仕組み 1～3 文法のまとめ 1～3		○	○	○	○		○	○	○	15
	定期考査							○	○	○	1
合計										105	



高等学校 令和7年度（1学年用）教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組  
 教科担当者： (1組：坂本・加藤) (2組：坂本・加藤) (3組：坂本・加藤) (4組：坂本・加藤) (5組：坂本・加藤)  
 使用教科書： (最新情報 I 実教出版)

教科 情報 の目標：  
 【知識及び技能】 情報機器などを活用した効果的なコミュニケーションの実現、情報社会との関わり方について理解できる。  
 【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見・解決に向けて情報を主体的に収集、判断、発信して適切に応用することができる。  
 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切に活用することから情報社会に主体的に参画することができる。

科目 情報 I	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	現象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数	
1 学期 A 情報社会と私たち 【知識及び技能】 情報社会における知識と法を理解し適切に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ビッグデータの活用例や情報の特性を理解し、SNSコミュニケーションの注意点と情報技術の安全な活用方法を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を活用し、社会課題解決に向けた提案ができる。	・情報社会の現状、情報の特性、情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響、知的財産権、社会の中で活用されている情報技術について理解する。 ・他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ・個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。 ・さまざまな情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。	【知識・技能】 ・情報の活用・保護・法の理解を基に適切に行動できる。 【思考・判断・表現】 ・ビッグデータの活用例を具体的に説明し、情報の特性やSNSコミュニケーションの注意点を論理的に理解しているかどうかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報活用の意識と改善提案を具体的に示せる。	○	○	○	8	
	B メディアと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性を理解し、効果的に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報伝達に適したメディアを選び、効果的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメディアを活用し、効果的な情報発信を行う。	・メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 ・メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 ・コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴、社会の中で利用されている情報デザイン、情報を正確に、わかりやすく伝える方法、報告書やレポート、論文を作成するための手順、プレゼンテーションの手順とスライド作成、Webページ作成の方法について理解する。	【知識・技能】 ・メディアを適切に分類し、表現方法を工夫できる。 【思考・判断・表現】 ・情報メディアの選択とデザインに配慮して伝達できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らのメディア活用を改善し、効果的な伝達を行える。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期 C システムとデジタル化 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みやデータ処理の原理を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報の表現方法や圧縮技術を理解し、適切に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル情報を主体的に理解し、活用できるようになる。	・コンピュータの演算の仕組み、数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・コンピュータの構成と動作の仕組み、ソフトウェアの種類とインタフェース、マウスとデジタルの違い、2進数と情報量の関係、コンピュータでの数値の計算方法、音声やデジタルで表現する方法、静止画や動画をデジタルで表現する方法、情報のデータ量を小さくする方法について理解する。	【知識・技能】 ・計算の仕組みやデータ圧縮について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・情報機器や圧縮方法を適切に選択し、データを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル化された情報を適切に取り扱い、理解する。	○	○	○	10	
	D モデル化とデータ活用 【知識及び技能】 問題解決の手順を理解し、データ分析を実行できる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の手順に基づき、適切なデータを収集・整理し解決案を導出できる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に積極的に取り組み、グループ活動に貢献する。	・問題解決の手順、問題の発見の方法、問題を明確化する方法、解決案を検討したり整理・分析したりする方法、合意形成を目指した解決案を決定する方法、実行した解決案を評価する方法、データを収集したり整理したりする方法、表計算ソフトの活用方法について理解する。 ・データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。	【知識・技能】 ・問題を整理し、データ分析を活用して解決案を提案できる。 【思考・判断・表現】 ・問題解決の計画立案からデータ分析まで実行できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決のためのグループ活動に積極的に参画する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期 E ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 通信方式やセキュリティの重要性を理解し実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 LAN構成やセキュリティ対策を適切に判断し、実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットワーク構成やセキュリティの改善策を提案し実行する。	・情報通信ネットワークの構成、ネットワークを効率的に利用するための取り決め、Webページとメールの仕組み、ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫、脅威に対するさまざまな安全対策、情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	【知識・技能】 ・通信技術の違いとセキュリティ対策を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ネットワーク構築とセキュリティ対策を適切に行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・セキュリティ対策を積極的に実施し、リスク軽減に貢献する。	○	○	○	10	
	F アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの基本を理解し応用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的なアルゴリズムを設計・表現し、効率的なプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムを主体的に考え、プログラム作成に取り組む。	・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 ・変数を使用したプログラムを作成する。	【知識・技能】 ・アルゴリズム設計とプログラム作成を実践できる。 【思考・判断・表現】 ・アルゴリズムの設計とプログラム作成を実践できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラム作成において実行錯誤を通じて改善できる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
合計						70	

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：(1組：興相・神谷) (2組：白戸・羽鳥) (3組：芝宮・内田) (4組：馬場・坂本) (5組：相本・西塚)

使用教科書：(人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」)

教科 総合的な探究の時間の目標：

【知識及び技能】人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。

【思考力、判断力、表現力等】他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。	他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。	自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数				
1 学 期	1章 人間関係を築く	・自己理解と他者理解(人間関係を築くことの意義を理解する。)	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 調べ・まとめ・発表ができたか。	○	○	○	3				
	2章 学ぶことの意義	・自分にとって学ぶことにはどのような意味があるか(学ぶことの意義を考え、自己の生き方を考えることにつなげる。)	【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。								
	3章 働くことの意義	・働くことの意義や目的(働くことの意義や目的、社会への貢献について考え、自己の進路についての考えを深める。)	【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度					○	○	○	2
	定期考査										
	4章 役割と責任	・奉仕活動、清掃活動(清掃活動を通じ、地域に貢献することの大切さやその意義について考える。)	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 調べ・まとめ・発表ができたか。					○	○	○	3
	5章 マナーとルール	・自分にとって学ぶことにはどのような意味があるか(学ぶことの意義を考え、自己の生き方を考えることにつなげる。)	【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。								
2 学 期	6章 スマートフォン時代のコミュニケーション	・スマートフォンと共に生きる現代において必要とされるものとは、何かを考える。(スマートフォンの必要性と、適切な使用方法について考える。)	【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	2				
	定期考査										
	7章 選択し、行動する	・よりよい選択をし、行動するためには、どうすればよいのか(自ら選択し、考え、行動する責任について考える。)	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 調べ・まとめ・発表ができたか。	6							
8章 チームを動かす力	・チームで活動するときには、どのような力が必要なのかを考える(チームで成し遂げることについて考え、今後の行事等で活かせるようにつなげる。)	【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。									
9章 ワーク・ライフ・バランス	・自分が理想とするワーク・ライフ・バランスを実現するには、どうしたらよいのかを考える。	【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度									
3 学 期	10章 お金の意義	・お金はどのような意義をもつのかを考える。(お金の意義を考え、収支の管理を学び、今後生活していくうえでの重要性を学ぶ。)	6								
	11章 消費者市民社会	・社会や環境などに配慮した消費とは、どのようなものなのかを考える。(SDGsの観点から消費について考え、他のSDGsについても考えさせる。)									
	12章 支え合う社会	・なぜ、人は助け合い、支え合うのかを考える。									
3 学 期	13章 地域社会を築く	・地域社会は、誰が何のために、築くのかを考える。	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 調べ・まとめ・発表ができたか。	6							
	14章 自然と人間の関わり	・「自然と上手に関わって生きる」とは、どういうことなのかを考える。	【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。								
	15章 科学技術と生命倫理	・「科学技術の進歩」の中で、「いのちの問題」をどう考えればよいのかを考える。	【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度								
	16章 文化の多様性	・世界に様々な文化があることは、私たちに何をもちたらしめるのかを考える。	7								
	17章 グローバル化が進展する社会	・グローバル化が進展する社会の中で、何を大切に生きていけばよいのかについて考える。 ・対立から国際平和を考える上で、大切なことは何かについて考える。									
18章 国際平和を築く	・国を動かす主権をもち、成年になるということは、我々にとって、どういうことなのかについて考える。	合計	35								